

税と権利

岩国市立周東中学校 2年 山根 愛

税は自分と他の人々の権利を守るために必要であり、この生活に欠かせない存在になっている。私は税について調べてそう強く感じた。

しかし、私は税について調べるまで税についてあまり興味はなかったし、ただただ高まる税に対して少し不満を感じたりもしていた。そんな私が税に対して興味を持ったきっかけは、十三年前の東日本大震災での税の活躍を知ったことからだった。

その地震によって被害を受けた、宮城県気仙沼市に税金二百六十四億円を使って被災者のために仮設住宅などを作り多くの被災者の支援や復興に役立てたり、生活上での権利を守った。このことから、私たちが日頃から払っていた税がこのように実際に災害時、被災者に安心と笑顔をもたらすことができていることを被災者の声を通じて知り、驚きと嬉しさや、前の私のように自分の払った税が必要とする人々に役立っていることを知らないで税を払うことに対して益々不満を持っていくのではないかと思い、もったいなさも感じた。また、被災後も変わらず生きる権利が守られていることに税の必要性がよくわかった。

他にも「権利」に着目すると、私たちの生活で役立っている税がとても目立って見えてくるのがわかる。一つ目の例はごみ収集が無料なのは、きれいな町で暮らす権利があるからだということ。二つ目は点字ブロックが設置されているのは、誰もが自由に外出する権利があるからだということ。三つ目は病院の診察代や自治体の健康診断が無料なのは、誰もが健康に過ごす権利と生存権があるからだということ。そして、権利があるからだけでなく、みんなが安心して日本で暮らせるように、絶対に無くなってはいけなくて、守らなくてはならないものだからだ。

このように私たちの生活から少し違った見方をするだけで、税の必要性やこれまで当たり前だと思っていた生活の一つ一つにありがたさや驚きを感じ、税は決して無駄ではないことがよくわかる。

この税について調べた貴重な機会を通じて、税の必要性やメリットがたくさんわかった。災害時の被災地の復興と、被災者の変わらぬ権利の保護が、地震国である日本は必須であり、税を日本で暮らす人全員が払うことから、自分が日本の未来を支える一員であるという自覚と、協調性が磨かれると思う。今回税について学んだことを家族などに私の口から、税の必要性を「権利」という視点から伝え、知ってもらいたい。